

令和14年4月1日の小中一貫校の開校を目指します



- 諏訪南中学校西側の市道を挟んだ敷地の確保を進めています。間にある市道も含めた現在の諏訪南中学校敷地と一体とした活用を検討しています。
- 令和8年度より、南部地区小中一貫教育学校建設に向けた基本計画策定業務に着手してまいります。南部地区小中一貫教育学校建設基本構想のコンセプトや、児童生徒等関係者の皆様の思いや願いも反映させながら進めます。



教職員研修

諏訪地域の文化、歴史、環境、ものづくりやICT活用、特別支援教育など現代的な課題等に関わる研修を通して、児童生徒の学びの確かな深まりを目指します。



黙々とマイはしづくり



なぜ、諏訪盆地の底から富士山が見えるのでしょうか？



「生徒のよさをどう引き出すか？」
教科の枠を越えた意見交換



学びを深める教材は？（数学科）



諏訪湖の水質を確かめる

「実際の調査場所の様子や方法を知ることが勉強になった。学校の近くにも飛んでいるとのこと、子どもたちと探してみたい。」

「鉄平石に関する先人の苦勞を垣間見ることができた！」



AED、エビメンの使い方(救命救急)



子どもたちと「メガネサナエ」※4
の羽化殻のモニタリング調査



羽化殻

成虫



校区内の史跡を巡る(幕岩探掘跡)

※1 インクルーシブ教育：障がいの有無にかかわらず、全ての子どもたちが共に学び、多様性を尊重する教育
 ※2 PBS(Positive Behavior Support)：当事者のポジティブな行動(本人の Quality of Life, 生活の質向上に直結する行動)をポジティブに(罰的ではない肯定的、教育的、予防的な方法で)支援するための枠組み(日本ポジティブ行動支援ネットワーク HP より)
 ※3 DX(Digital Transformation)：デジタル技術を活用して、新しい業務のあり方や価値を生み出すこと
 ※4 メガネサナエ：近年数が減っている、国内でも珍しいトンボ。確実に生息しているのは諏訪湖と琵琶湖、愛知県の一部のみ

諏訪市の小中一貫教育

『“自らを拓き、未来を生きる”子どもを育てる』

— 令和7年度の実践から —



大縄跳び、心合ってこそ！（体育祭）



育てた花をドライフラワーに(交流)



カルタ形式で楽しく学ぶ(国語)



高齢者への手紙を(地域貢献)



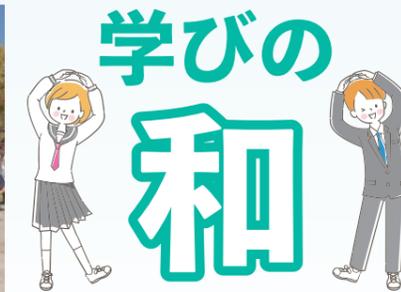
互いに力を出し合って！（交流）



アイガモさんと散歩(白紙単元)



見て！トンボ できるよ！（体育）



学びの
和



美味しく食べたいな(総合)

誰もが輝き 誰もが幸せ 新たな時代を切り拓き つながり続ける



静寂の中、無我の境地に！（修学旅行）



蒸留の実験に挑戦(理科)



夏休み頑張りました！
個性あふれる作品(学級活動)



美しい人権の花運動(地域貢献)



協力して手際よく(交流)



いつでも どこでも 校内ギャラリー(美術)

小中一貫教育学校の仕組みを生かした、新しい時代の教育の創造、すべての人が健康で、豊かな人生を送るために、「そろえる」教育から、「伸ばす」教育への変換

“四中学校区における「ゆめスクールチャレンジ」の取り組み” 「ゆめスクールチャレンジ」は、今、目の前にある教育課題を、中学校区単位で先導的に研究・実践し、その成果を市内全校で共有しながら、児童生徒目線に立った小中一貫教育につなげるものです。

上諏訪中学校区：探究的な学びの推進

《児童生徒が問いを立て探究する授業や学校づくり》



生活・総合～探究の深まり～



「どうしたら、お馬さん喜んでくれるかな?」「どうしたら、観光客喜んでくれるかな?」

上諏訪小中学校では、物事や事象への「問い」を持つところから始まる「探究的な学び」を進めています。

「どうしてなのかな」「こう考えてみようか」「どうすれば可能かな」「他の見方をしてみようか」

ものづくり～探究の広がり～



「おずらさんが喜ぶくつろげる小屋を作りたいな」「子どもが喜ぶ高さの合奏ベンチを作りたいな」

小学校では「白紙単元学習」、中学校では「手長丘プロジェクト」を中心に、「問い」の質を高め、主体的・対話的・体験的に自分らしく、とことん追究する中で、自分の課題を解決していくことを目指しています。

児童生徒会企画～みんなが起業家～



「小中合同放送 上諏訪ラジオが始まるよ～」「小中給食レクもうちよつとあそびたいな～」

上小フェスティバル・上中タイム～みんな笑顔～



「おもしろいこと いっぱい わくわく」「げきなこと いっぱい わくわく」

諏訪西中学校区：インクルーシブ教育※1、スクールワイドPBS※2

《児童生徒一人ひとりを大切にするインクルーシブ教育の推進》

《子どもたちがよさを実感できる工夫》

【あいさつ運動】「よいあいさつをどんどん褒めていこう!!!」

【全校でいいところさがし】「友達のいいところ探しをしよう!」「私に こんな いいところがあったんだ!」

【小中交流】「いいあいさつをした中学生にメダルをプレゼント!」

【生徒会活動】「自分たちで自分たちの生活をよくしていこう!」「よくできていたら「超優」!!」

《すべての子どもが同じ場で学び合える》

学年や学校の枠を超え、学び交流する姿

【異学年交流】「4年生の作ったおもちゃで遊んでみよう!」

【小小交流】「新しくお友達になれた!」

【生徒会活動】「他学年の人の意見を聞いてみよう!」「よりよい西中に!」

《学びを選択できる環境づくり》

【選択肢のある授業づくり】「いろいろなコースがあるからとんとんやってみよう!」

「できる問題から解いてみよう!」

【家庭学習】「自分で計画を立てて、進めよう!」「自分の足跡が見えるから「やる気」になれる!」

諏訪西中学校区では、子ども達が自分のよさを輝かすことができるよう PBS を学び、インクルーシブ教育や小中一貫教育を大切にしていけます。

諏訪中学校区：主体性を育む学校づくり

《児童生徒主体の「小中」交流のあり方、自立した学習者を育てる》



児童・生徒会のコラボ企画の立案・実行・内省

「中学生と、こういう活動をした!」「それなら、こんな工夫ができるよ!」

「自分の説明、伝わってるかな」「次はもっとコミュニケーションのとれる企画にしたい!」

「迫力があって格好いい!」「自分たちも中学生みたいに、楽しく演奏したい!」

主体的な学びが自立への高まりへ

「秘密基地をつくりたい」「全校のみんなに、見てもらいたいな!」

「自分が学習したいことができるから楽しいな」「何をしたらいいか迷う時もある...」

「他の人の意見を聞くと、もっと良い勉強法が見つかった。試してみたい!」「課題点に仲間からアドバイスをもらって、自分に合った効率の良い勉強法を見つけられそう!」

小・中学生の意見が地域交流の広がりへ発展

【地域の人と共にできる活動とは...】

「学校行事に来てもらいたい!」「挨拶でコミュニケーションを深めたい!」「文化祭や地区の行事に参加しよう!」

【地域の防災訓練に小・中学生が参加】

「小・中学生が参加してくれて、嬉しい!中学生の姿が、頼もしいなあ!」

「いざ助けが必要な人を目の前にしたら、やはり不安。だからこそ、しっかり学んでおくことが必要だと思った。助けを呼ぶことは大切なんだな!」

諏訪南中学校区：学び合いの学校づくり、働き方DX※3

《共感的な人間関係の育成・子どもと向き合う時間の確保》



「学び合い」の学校づくり

友だちとの「困った」に、耳を傾け、一緒に考え、表現していく姿があります。

「お姉さんが手伝ってくれたよ!」「先輩、ごきげんいかが?」「児童会による「ロビー」で表彰式!」

日常の中で、声にならない気持ちに気づく力を育んでいきます。その一言から、縦割りの活動に対話が自然と始まります。みんなで喜びを分かち合います。

働き方DX

遠く離れた子どもたちと教師が、オンライン授業を通して、瞬時に繋がり、交流しています。

生徒と一緒に文化祭をつくります。

子どもたちと、休み時間も思いっきり遊びます。

子どもの学習の歩みに、優しく寄り添います。

友だちとの関わり合いの中で、選び、考え、表現するための協働的探究的な「学び合い」の授業づくりを目指しています。

友だちと一緒に、自分の考えを構築していく「学び合い」の活動は、共感的な人間関係の育成に繋がっています。

・おたよりのデジタル化や自動採点システム導入、また各小中学校をオンラインでつないだ交流や、中学校数学へのジョイント学習など、デジタル技術の活用についても取り組んでいます。

・働き方DXで、教師が子どもと向き合う時間を生み出します。